

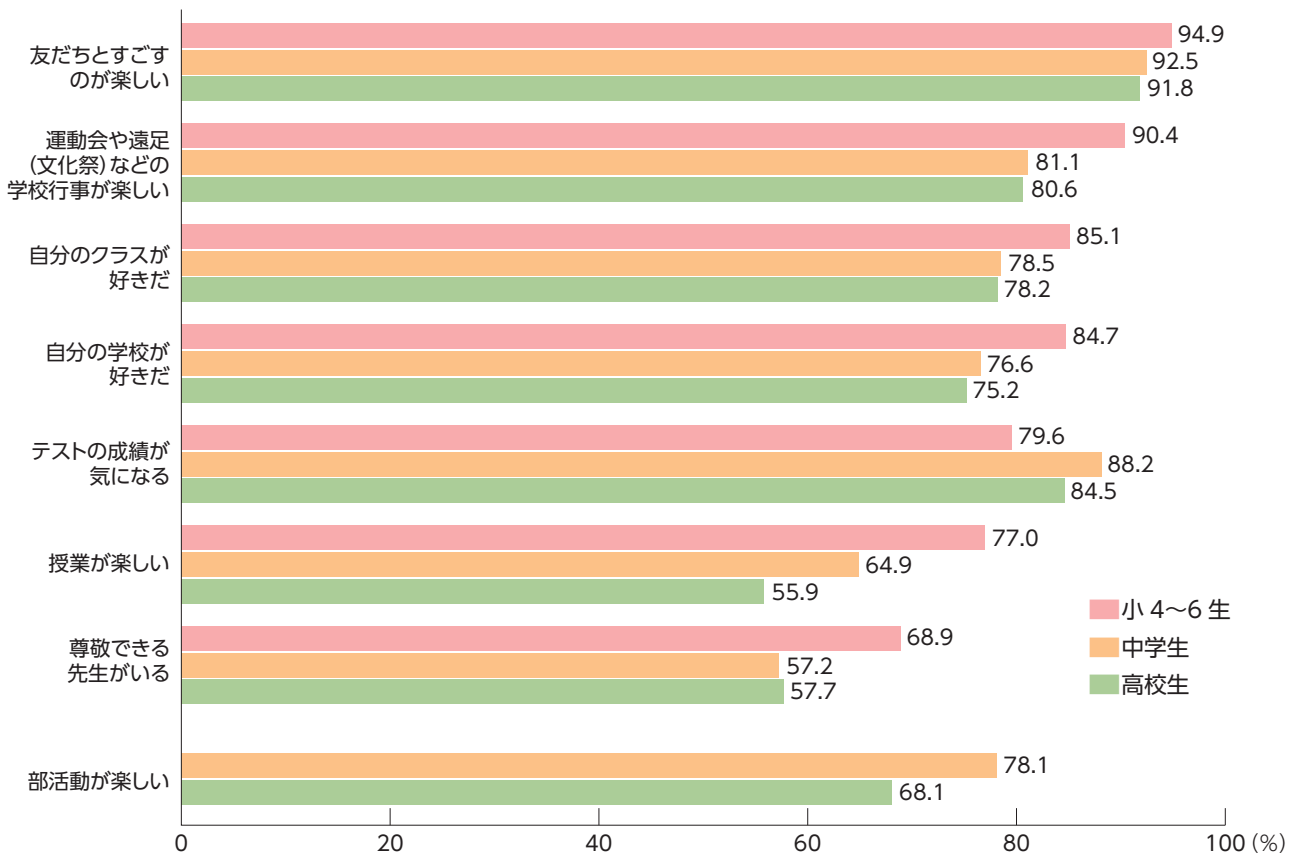
### 8～9割弱の子どもが「テストの成績が気になる」と感じている

「授業が楽しい」と回答する割合（「とてもあてはまる」+「まああてはまる」、以下同様）は学校段階が上がるほど低くなる。また、「運動会や遠足（文化祭）などの学校行事が楽しい」「自分のクラスが好きだ」「自分の学校が好きだ」「尊敬できる先生がいる」の割合は小学生から、中学生にかけて低くなる。一方で、どの学校段階でも約8～9割弱が「テストの成績が気になる」と回答している。



学校生活について、次のようなことはどれくらいあてはまりますか。

子ども 図2-1 学校生活について（学校段階別）



あなたはふだん（学校がある日）、次のことを、1日にどれくらいの時間やっていますか。（学校の中でやる時間は除いてください。）

子ども 表2-1 学習時間（学校段階別／平均時間）

	学校の宿題をする	学校の宿題以外の勉強をする（学習塾の時間を除く）
小1～3生	32分	15分
小4～6生	44分	26分
中学生	49分	35分
高校生	54分	47分

注1 「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の%（図2-1）。

注2 「部活動が楽しい」は小4～6生には尋ねていない（図2-1）。

注3 平均時間は「しない」を0分、「5分」を5分、「4時間より多い」は300分のように置き換え、無回答・不明を除いて算出した（表2-1）。

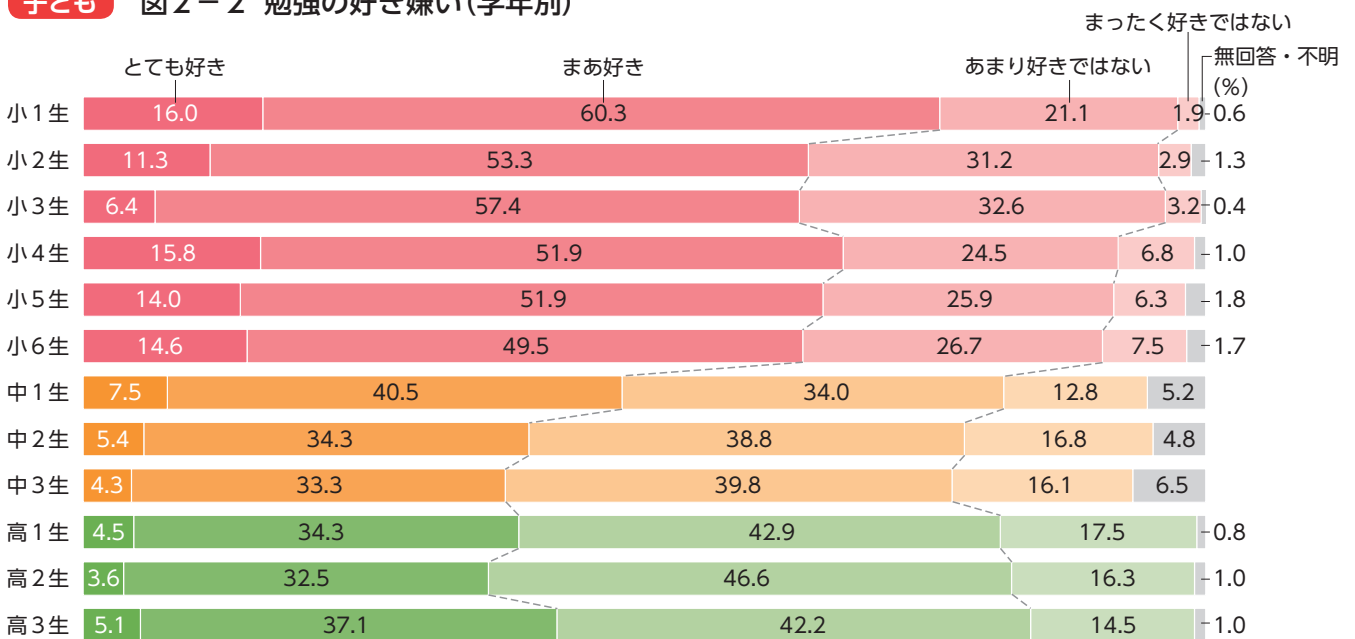
注4 小1～3生は保護者の回答（表2-1）。

## 自分のことを「理系」だと考える小4生は5割だが、学年が上がるにつれて減少し、高2・3生では「文系」と思う子どものほうが多くなる

小学生の6割以上が勉強を「好き」(「とても好き」+「まあ好き」)と答えているが、中学生や高校生では大幅に減少している。中2生以上は勉強を「とても好き」が5%前後で、「まったく好きではない」が15%前後である。また小学生のうち自分のことを「理系」(「どちらかといえば理系」+「はっきり理系」)だと認識する子どもの方が多く、小4～5生では半数近い。しかし、学年が上がるると「理系」が減少して「文系」が増加し、高2・3生では「文系」が「理系」を上回る。

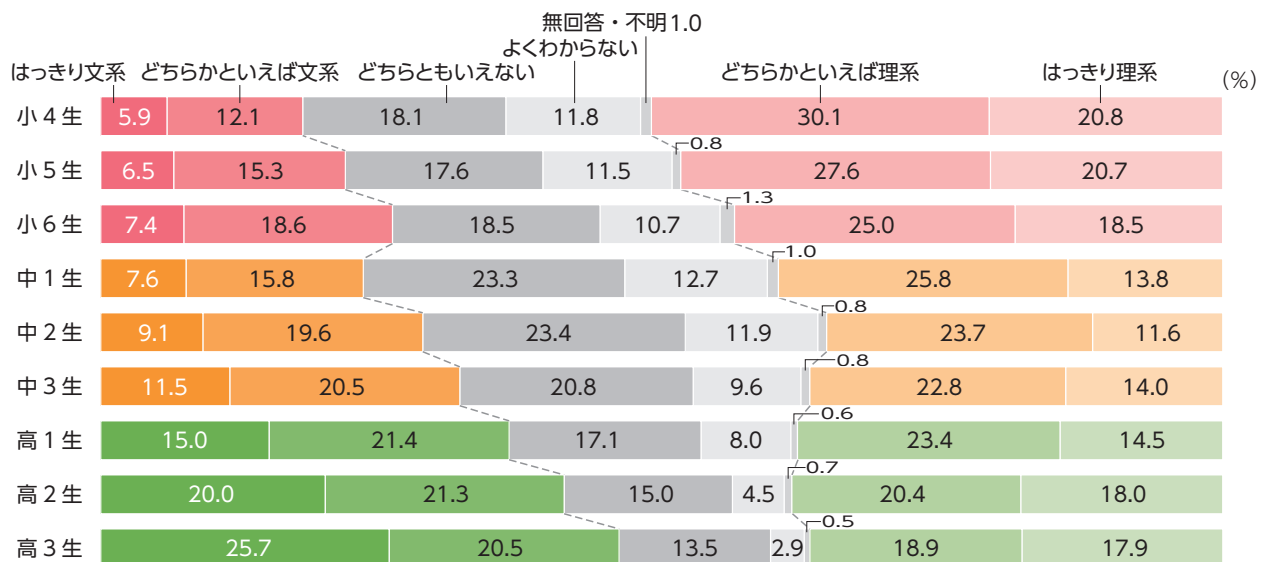
**Q** あなたは「勉強」がどれくらい好きですか。

**子ども** 図2-2 勉強の好き嫌い(学年別)



**Q** あなたは自分のことを「文系」だと思いますか、それとも「理系」だと思いますか。(「文系」とは国語や社会が得意な人、「理系」とは算数・数学や理科が得意な人を指します。)

**子ども** 図2-3 文系か理系かの自己認識(学年別)



注 小1～3生は保護者の回答(図2-2)。

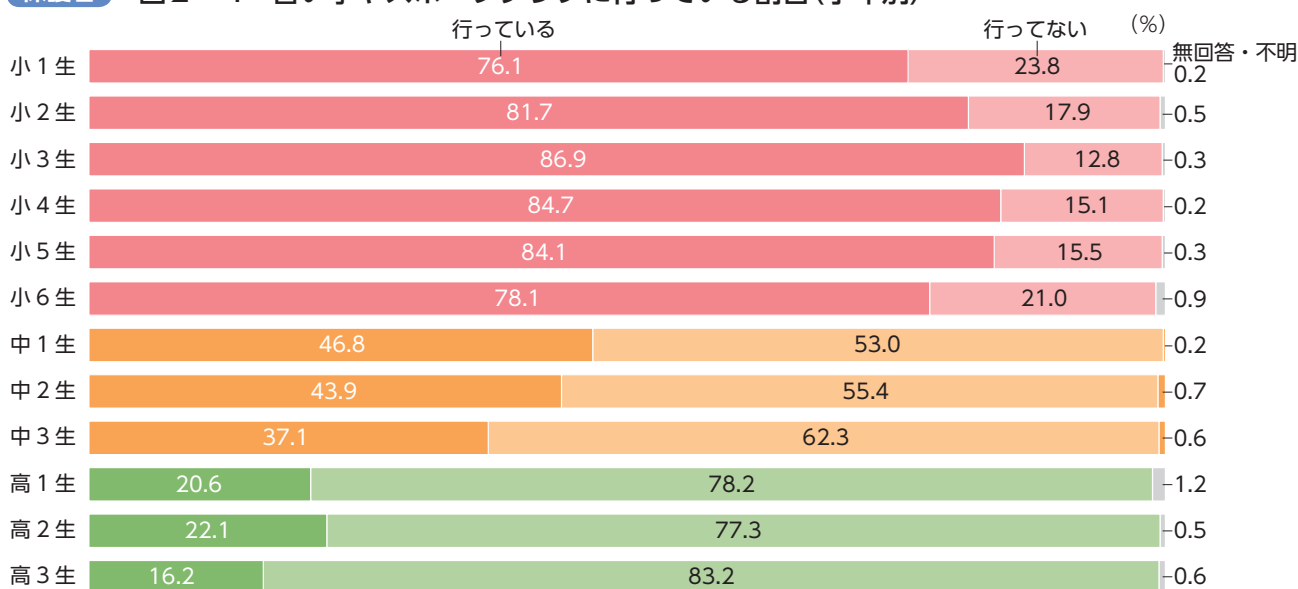
## 習い事やスポーツクラブに行く子どもは、小学生で8割前後、中学生で4割前後、高校生で2割前後

習い事やスポーツクラブに行く子どもの割合は、小1生から小3生にかけて高くなり、その後はおおむね学年が上がるにつれて低くなる傾向がある。とくに小6生(78.1%)と中1生(46.8%)の差が大きい。習い事の種類別で見ると、スポーツ、文化活動を問わず、中学生・高校生は小学生より「行っている」割合が低い、とくに「スイミング」などのスポーツにおいて顕著に低い。



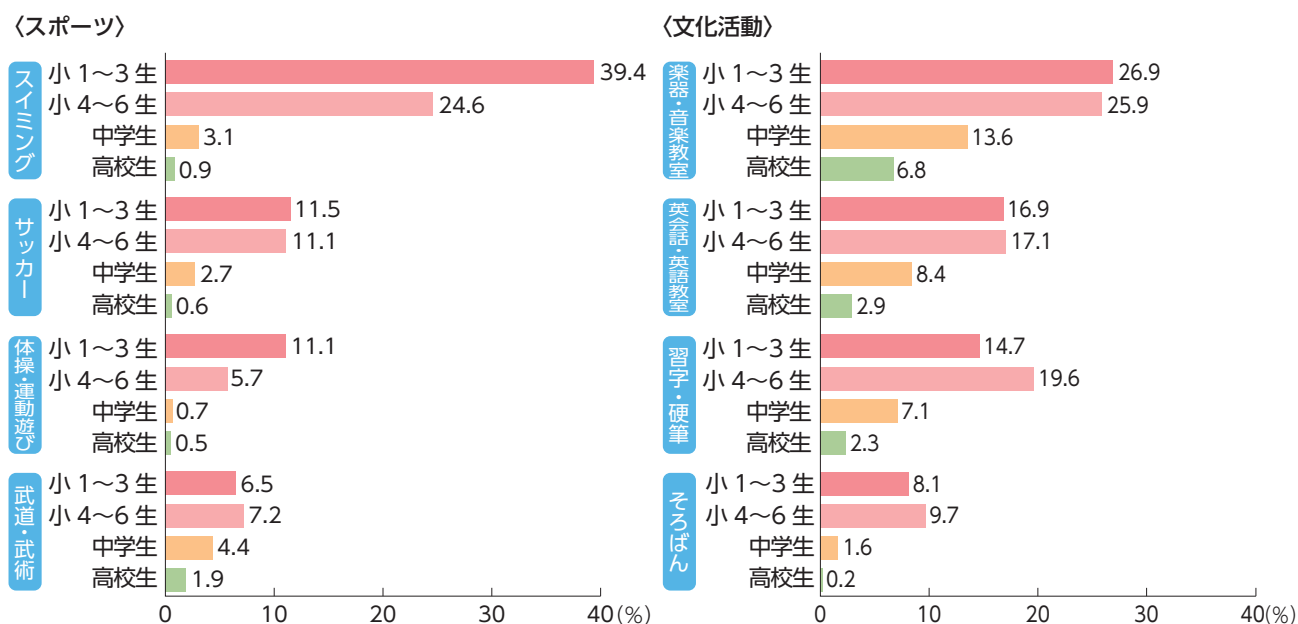
お子様は現在、学校外の習い事やスポーツクラブに行っていますか。  
(部活動、学習塾や学習教室は除きます。)

保護者 図2-4 習い事やスポーツクラブに行っている割合(学年別)



お様が、現在、習っているものすべてに○をつけてください。

保護者 図2-5 習い事の種類(学校段階別)



注1 複数回答(図2-5)。

注2 習い事やスポーツクラブに「行っていない」と無回答・不明を含めて算出した(図2-5)。

注3 小1生~高3生全体で、割合の高い順に8項目を掲載した(図2-5)。

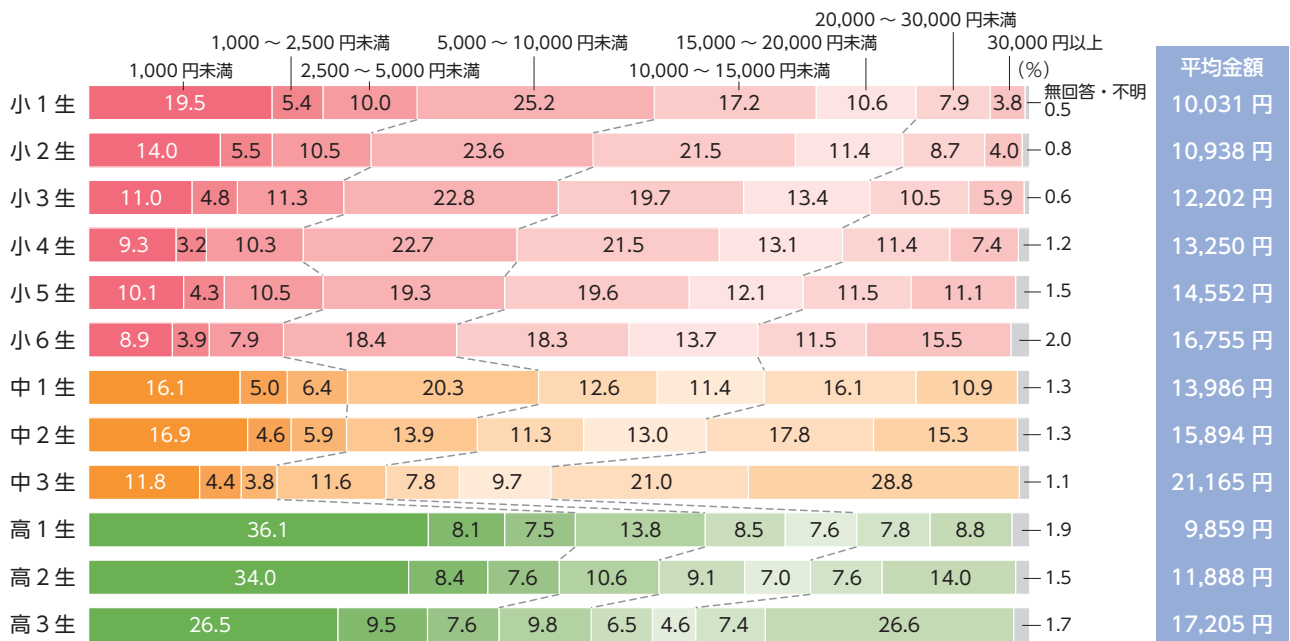
## 学校外の教育費は中3生がもっとも高い

1人あたりの教育費(授業料を除く)は、どの学校段階でも学年が上がるほど金額も高くなる。しかし、小6生より中1生が低く、中3生より高1生が低く、学校段階が変わるときに教育費が低くなる。すべての学年で教育費がもっとも高いのは中3生である。また、教育費の平均金額を世帯年収別でみると、世帯年収が高いほど教育費は高い。とくに世帯年収による差が大きい学年は小6生と高3生であり、中学受験や大学受験にかかる教育費が世帯年収によって異なっている可能性がある。

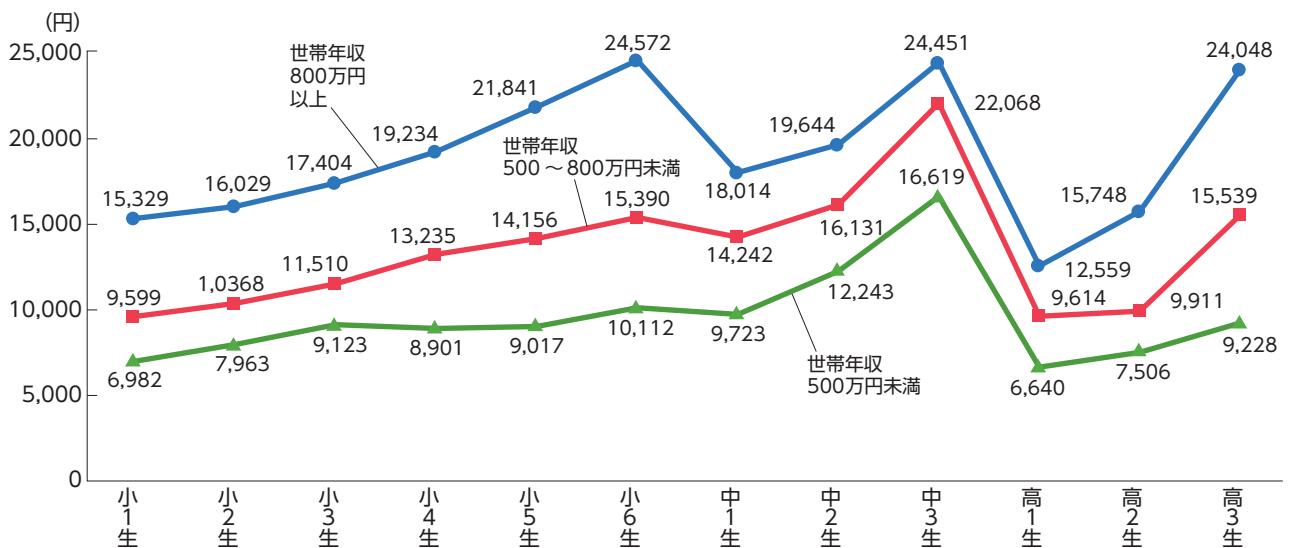


ご家庭の教育費はどれくらいですか。お子様1人の金額を、月平均でお答えください。(習い事や学習塾の費用、教材費などの合計。学校の授業料は除きます。)

保護者 図2-6 子ども1人あたりの教育費(学年別/平均金額)



保護者 図2-7 子ども1人あたりの教育費(学年別・世帯年収別/平均金額)



注1 「30,000円以上」は、「30,000~40,000円未満」「40,000~50,000円未満」「50,000円以上」の合計(図2-6)。

注2 平均金額は「1,000円未満」を500円、「1,000~2,500円未満」を1,750円、「40,000~50,000円未満」を45,000円、「50,000円以上」を55,000円のように置き換え、無回答・不明を除いて算出した(図2-6,7)。

注3 世帯年収は「世帯全体の収入(共働きの場合は夫婦の合計)はどれくらいですか。ボーナスなどを含めて、昨年1年間のだいたいの収入を税込みで教えてください。」と尋ねたもの。「答えたくない」および無回答・不明は除いている(図2-7)。